



答えて市長!

一般質問

今定例会では、14名の議員が市政全般にわたり、市の見解をただしました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は9月上旬となる予定です。

民生・児童委員の確保に市職員退職者に働きかけを

互 金次郎

問 全国的には、民生委員不足問題は常態化しています。近年は、社会的弱者や要援護者の支援に加え、児童虐待問題や高齢者不明問題等その職務範囲は時代と共に広がっています。

答 市の民生・児童委員の定員充足の現状と課題は。

問 現在、定数116人に対して108人となっており8人の欠員です。近年、なり手の確保が難しくなっています。

答 自治会に対して、民生・児童委員のやりがいや重要性を訴え定数の確保に努めます。

問 民生・児童委員のなり手の確保の一つの方法として、行政キャリアを積んだ市職員退職者に働きかけては。

答 健康福祉部長 市職員退職者への働きかけは、民生・児童委員のなり手の確保の対策として有効性が高い取り組みと考えます。

関係部署と調整し、市職員退

職者への案内や声掛けを行い、本人の了解のもと自治会に紹介します。

新時代にふさわしい学童保育室の充実を

五十嵐 恵千子

問 国は、公明党が提案した、仮称「学童待機児童解消加速化プラン」を「新たな成長戦略」へ盛り込む考えを示しています。

答 ①本市「小4の壁」と「小1の壁」の解消を。②吉川美南駅(東口)周辺へ、新時代の学童保育室などを併設した「子ども・子育て総合施設」を全国に先駆け、PFI方式で建設しては如何か。

問 国は、公明党が提案した、仮称「学童待機児童解消加速化プラン」を「新たな成長戦略」へ盛り込む考えを示しています。

答 市 ①平成27年4月より対象年齢を小学校6年生まで拡大。土曜の保育時間も19時まで延長していく。「小1の壁」である20時までの保育時間延長はファミリー・サポートセンターの活用でお願いしたい。②民間活力を使い、市民ニーズを取り込んだ取り組みが出来れば良いと思う。

介護・閉じこもり予防は自治会・関係部署と連携

降旗 聡

問 「いきいき暮らせる高齢者福祉の推進について」①閉じこもり対策として、社会参加の機会を確保するため、生涯学習課との連携を。②いきいき運動教室などの告知に、コミュニティ掲示板の活用を。

答 健康福祉部長 ①「閉じこもり対策について」地域とのつながりが希薄になりがちな高齢者が、趣味や教養活動を通じて社会参加することは、認知症や介護の予防に大きく寄与するとともに、地域の活性化につながります。

問 今後は事業を実施する部署と連携し、高齢者の方が関心を持たれる事業や参加しやすい事業の情報を一元化したチラシを作成し、公共施設やホームページへの掲載と、地域包括センターや民生・児童委員に配布し、声かけの一助として活用し、高齢者の社会参加に結びつけていきたいと考えています。

答 市 ②「コミュニティ掲示板の活用について」日常的に目にでき、ポスターを複数の方が同時に見る機会があると思います。一人では参加しづらかったものが、誘い合いの声が上がり、参加のきっかけ作りとなることも期待できます。自治会の協力を得ながら掲示板を活用した情報発信に努め、多くの方に参加していただけるよう努めます。

時代の変化を反映した高齢者福祉計画を

中村 喜一

問 第6期高齢者福祉計画で、重視する観点は。

答 市 第5期で掲げた「健康づくりと介護予防」「生きがい活動・社会参加の促進」に加え、「地域包括ケアシステムの構築」や「介護予防の推進」を重視する。

問 団塊の世代が高齢者の中心世代となるが福祉施策の考えは。

答 市 元氣高齢者の活躍の場作りや、要支援者への生活支援を拡大していく。高齢者自身が生活支援サービスに関わるシステムも検討していく。

問 三輪野江、旭などの過疎地域では、今後高齢者への移動支援が必要になるのではないかと。

答 市 現在、要介護者を対象に、病院、公共施設などへのタクシー利用の外出支援を実施している。今後、第6期計画のニーズ調査を踏まえ公共交通対策の視点から研究していく。

問 高齢者世代の能力活用策は。

答 市 現在、「シルバー人材センター」「地域寺子屋事業」などで活躍している。今後、潜在する人材の発掘や、高齢者紹介の環境づくりを検討する。

大規模災害時の応急的飲料水確保へ消火栓の活用を

小野 潔

問 耐震性水道管の布設を進めている現在、首都直下型地震等による大規模災害時の応急的給水活動は道路が寸断され思うように給水活動が出来ない事が想定されます。そこで自主防災組織などにより消火栓を活用した

◆「地域包括ケアシステム」を

問 ①高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための計画を。②認知症高齢者やその家族を支援する「認知症ケアパス」「認知症カフェ」の取り組みを。

答 市 ①第6期計画に位置づけ、地域の実情に合ったシステムとなるよう計画を策定する。

②「認知症ケアパス」は今年度中に策定。「認知症カフェ」は場所の設定について検討する。

◆高齢者を守る「肺炎球菌ワクチン予防接種」の個別通知を

答 市 10月1日の接種開始に合わせて、個別通知を発送する。

◆吉川駅水害対策に貯水施設を

問 「平成25年10月台風26号による浸水被害に関する要望書」を太田国土交通大臣へ戸張市長をはじめ5市1町の首長と公明党西田実仁参議院議員、越谷市選出の藤林富美雄県議会議員とで要望活動をした内容は。

また、新たな貯留施設の設置にあたり県との協議状況と政策決定への考えは。

答 市 中川右岸区間の河川改修、八潮排水場の能力増強、首都圏外郭放水路の延伸区間の早期着手。市町のポンプ場、排水機場維持への補助です。

答 都市建設部長 県との調整の中で、下水道事業での国の補助金を活用しながら出来るだけ早く意思決定をしていきたい。

◆教育環境の整備について

答 市 暑さ対策のためのエアコン設置は、校舎の改修工事などの優先度を考慮しながら、前向きに検討する。